

令和4年4月28日



# さかもと



さわやかに かがやいて もくひょうもって ともにあゆもう

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakamoto/>

横浜市立坂本小学校 校長 荒井 正史

とある授業の一コマ。子どもたち (S) と外国語活動講師のアナリン アペンダン ノガミ先生 (T) とのやり取りです。T “What is my favorite fruit?” S 「フルーツって聞こえたぞ」「私の好きなフルーツは何ですかって聞いているのかな」 T “Hint! This fruit’s color is yellow.” S 「黄色のフルーツってことは・・・」 “Banana!” T “It’s not. Nice try!” S “Lemon!” T “It’s not. Nice try!” S “Mango.” T “Yes. I like mango!” “Do you like mango?” S 「先生はマンゴが好きなんだ。私も好き」 “Yes.” T “In Philippines we have a lot of mango trees.” S (写真を見ながら) 「すごい！フィリピンにはマンゴの木がたくさんあるんだね」

私が小学生のときのことで、日光に修学旅行に行きました。観光に来ていた外国の方と話をしたいと思った私たちは、当時英会話を習っていた友だちに尋ねました。友だちから教えてもらったのは、“Do you like japan?” です。勇気をもって “Do you like japan?” と話しかけると “Yes” などと答えてくれたのが嬉しかったのを覚えています。中学生になり、英語の学習が始まりました。「英語を話せるようになりたい」と思い、たくさんの単語や文法を学びましたが、それだけでは実際に英語を使う抵抗感はなくなりませんでした。

今では、子どもたちは授業のなかで「本物の英語」に触れることができます。子どもたちは、英語をすべて聞き取ることができなくても、聞き取れた単語からノガミ先生が何を話しているか推測して、これまで学習した英語から、どのように話せば先生に伝わるかを考えてコミュニケーションをとろうとしています。「ノガミ先生が話をしていることが分かった！」「先生と英語でコミュニケーションできた！」という成功体験は、子どもたちの将来にとって貴重な学習であると考えます。

子どもたちは、さまざまな人と出会い、さまざまなものに触れ、さまざまなことを体験して、成長していくと思います。子どもたちが多くの「人」「もの」「こと」に触れることができるよう、支援をしていきたいと考えています。

### 【坂本小キャラクター紹介】

22日(金)に、「一年生を迎える会」がありました。4～6年生が坂本小学校について紹介してくれました。そのなかで、6年生が坂本小学校のキャラクターを教えてくださいました。左が「みかんくん」中央が「りんごちゃん」右が「ブルーベリーくん」です。

